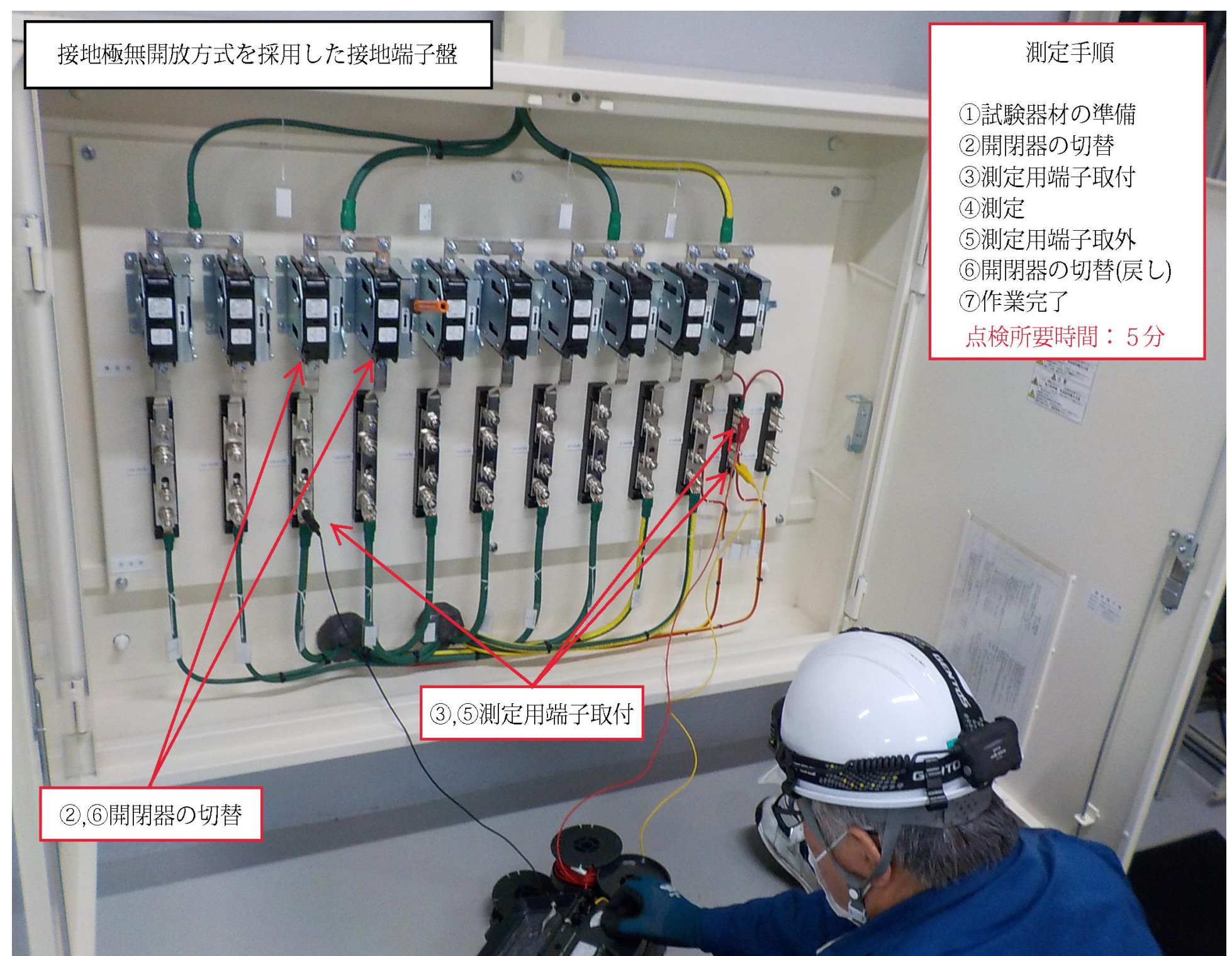
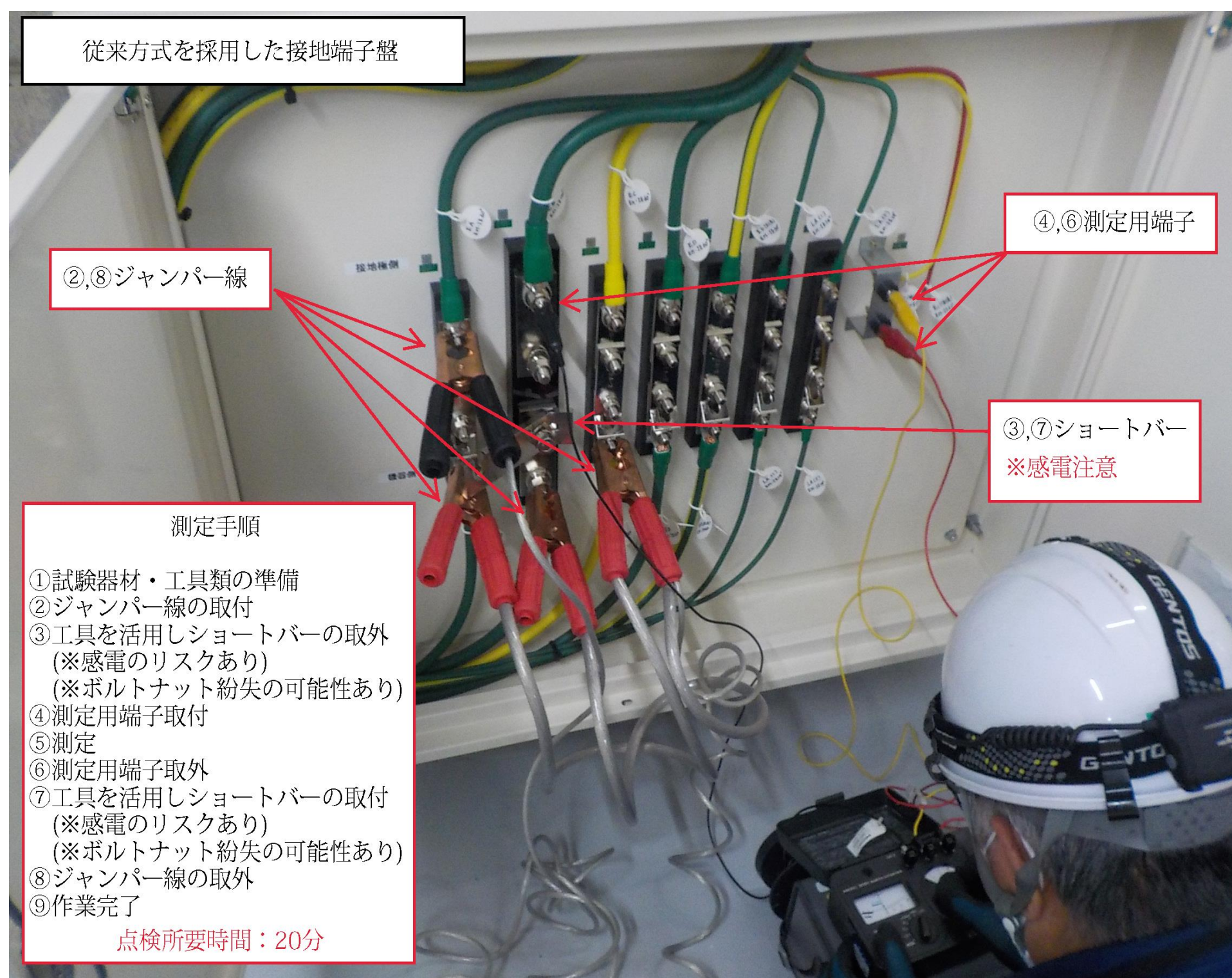




優秀賞



電力分野

接地極無開放方式を採用した接地端子盤

取組概要

商用系及び非常系の2回線受電の受変電設備において、メンテナンス(停電)時に接地抵抗値の測定を無開放状態で行える設備を開発・導入した。従来方式にて問題となっていた点検時の安全面と作業性について大幅に向上が図れ、メンテナンス効率の改善に寄与した。

また接地抵抗値の上昇に伴う規定値外への対応策として、商用・非常用の切替機能を有した設備の為、接地極の合成又は片系の開放を行うことで修繕工事を実施するまでの期間も規定値内の接地抵抗値を維持し、受変電設備の安全面の信頼性が担保された。

受賞理由

病院という電源喪失の許されない需要設備において、点検を素早く行えるかは重要な課題であり、作業時間を大幅に短縮しつつ作業員の安全を確保している点が評価できる。同様の問題を抱える他の現場への波及も期待される。

取組のポイント

商用・非常用の接地極切替機能を有した設備であるためメンテナンス(停電)日が異なる需要家でも片系を活かした状態で接地抵抗値の測定が可能である。従来方式では接地抵抗値の測定時、両系統の停電又は接地極2次側にてジャンパー線を活用し一時的に他極へ振替後、点検が必要であった。他極へ振替を実施する際は漏洩電流による感電災害のリスクが生じたが本方式は開閉器の操作のみで切替が可能のため安全にメンテナンスを実施することが可能となった。感電災害リスクの大幅な低減、必要工具・器材の削減、試験時の時間縮減が優位となった。

受賞者について

滋賀医科大学は
開学50周年

後列左より
京都精工電機㈱
原 寛
小野 公治
オリックス・ファシリティーズ㈱
安川 努
阪口 仁壽

前列左より
国立大学法人滋賀医科大学
出口 裕司
飯島 圭

受賞者

国立大学法人 滋賀医科大学
オリックス・ファシリティーズ株式会社
京都精工電機株式会社

コメント

日常からインフラ設備を支える技術者集団としてメンテナンスの手法を試行錯誤してきた取組の一部が評価され、大変光栄に存じます。今回、表彰頂いた内容が全国的に広まり、重要施設におけるメンテナンス時間の短縮及び点検従事者の安全確保に繋がれば幸いです。今回の受賞を励みにインフラを支える技術者集団として今後も精進いたします。

団体概要

本学は地域に支えられ、地域に貢献し、世界に羽ばたく大学として、医学・看護学の発展と人類の健康増進に寄与することを理念としております。

附属病院については高度な医療を提供・評価・開発・研修することが求められる特定機能病院の役割を果たすとともに地域における医療の中核機関として地域医療にも貢献しています。また災害拠点病院として指定されており「救急・災害医療」では広域から搬送される極めて緊急を要する重症患者の治療にあたっています。

問い合わせ先

国立大学法人 滋賀医科大学 施設課 施設企画係
Tel：077-548-2052
Mail：hqsisetu@belle.shiga-med.ac.jp